

YIA Newsletter

Summer
2024

公益財団法人 山梨県国際交流協会

TAKE FREE



多文化共生が拓く
山梨の未来

やまなし多文化共生シンポジウム



やまなし多文化共生シンポジウム

令和6年3月9日(土)、山梨県立文学館の講堂で「やまなし多文化共生シンポジウム」を開催しました。俳優でタレントのサヘル ローズさんに、「出会いこそ生きる力」と題してお話いただいたほか、「多文化共生が拓く山梨の未来」をテーマとしたパネルディスカッションも行われ、200名を超える皆さまにご参加いただきました。

講演「出会いこそ生きる力」

タレント・俳優 サヘル ローズさん

大家族の1人としてイランで生まれたサヘルさんは、イラン・イラク戦争のさなかに孤児となり、養母に引き取られて7歳で来日しました。自国とは大きく違う文化の中で、日々葛藤し、苦しみながらも、強くたくましい養母とともに苦境を乗り越えていきます。言葉も習慣も、育った場所とは全く違うところで生きることは、誰にとっても簡単なことではありません。言葉がわからないなかで気持ちを伝えることは難しく、「助けて欲しいと言えないことも多かった」と話すサヘルさんのこれまでの思いや生い立ちに触れ、会場では涙を拭う多くの人の姿がみられました。そして、苦しいなか、愛情を持って接してくれた人たちの思い出を語ってくれました。約2万人の外国人住民の皆さまとともにこの山梨を支えるいま、私たち一人ひとりがサヘルさん親子を支えた人たちと同じような気持ちを持てるようになるといいですね。



パネルディスカッション「多文化共生が拓く山梨の未来」

冒頭に、ファシリテーターで(公財)日本国際交流センター 執行理事の毛受 敏浩(めんじゅ としひろ)さんから、「日本の将来推計人口」について2070年には8,700万人まで減少が見込まれる点や、建設業、医療・福祉などの各産業分野において外国人依存度が高まっていることについて情報提供がありました。



多文化共生への課題として、パネリストで県立大学地域人材養成センター特任教授の長坂香織さんは、主宰する団体による医療通訳の育成や、外国籍児童・生徒たちを対象とした事業を通じて見てきたものとして医療機関における通訳者の不足を挙げ、「誰もが安心して暮らせるように、行政と医療機関との連携により山梨で持続可能な方法を模索する必要がある」と発言されました。また、多文化共生を考える会ハート51代表の加藤順彦さんは、自身が運営する、外国籍家庭の子どもの小規模保育園で、若い外国人スタッフが活躍する様子を紹介し、現場での一定年数の経験があれば、保育士への

資格取得のためには高校や大学への進学は必須でないことを例に挙げ、「自国と日本の両方の文化や言語を持つ若い世代の外国人の皆さまに、多文化社会を担う一員として、今後ますます活躍してもらいたい」と話されました。そして、山梨の未来を見据えて県民の皆さんの理解と協力について話が進むなか、社会福祉法人緑樹会理事長の石井貴志さんからは、インドネシアやネパールなど3カ国から12名の職員が活躍している。「これからは、もっと地域の皆さんとの交流が必要、皆さんにもご協力をお願いしたい」と会場へ呼びかける場面もありました。(公財)山梨県国際交流協会の職員でブラジル出身の両親のもと山梨で生まれ育った古賀詩織さんは「ここに暮らす外国人は皆同じではなく、それぞれの文化や背景を持つ人たち。息苦しさや生きづらさがない社会を目指して、文化や言葉が違うことを前提に、ともにそれらを教え合いながら一緒に暮らしていくという意識でいてもらえると嬉しい」と会場に語りかけてくれました。



全国的に加速する多文化共生社会において、山梨の未来を見据え、国籍や文化などさまざまな違いを超えて、お互いに人として誠実に関わる大切さをあらためて考えるきっかけとなりました。ご参加いただいた多くの皆さま、関係者の皆さま、ありがとうございました。

ともに描くやまなしの未来 —山梨県地域日本語教室から—

Column

「みんながって、みんないい」。詩人、金子みすゞが「私と小鳥と鈴を」を世に出したのは、今からちょうど百年前のことです。私たちは日々の経験を経て、複層的に折り重り、複雑に編まれた自分自身になっていきます。だからこそ、コミュニケーションから、書物から、芸術から、多方面の情報から“他”に向き合うのはおもしろいと感じるのだらうし、それは同時に“自分”をも受け入れることにつながっているように思います。

山梨県は「誰もが自分らしく活躍できる共生社会」を未来像として描いています。多様な考えや価値観、違いを自然なこととして捉え、足りないところは補い合う温かい社会です。このような社会の実現を目指す取り組みの一つとして、市町村が主催する「日本語教室」の運営を支援し

ています。外国人住民の日本語コミュニケーション力の向上と多様な価値観を知ることによる相互理解を目的に、外国人住民、地域住民、市町村が力を合わせて運営する教室です。生活をテーマに日本語で話したり、一緒に考えたり、情報を交換したりしながら、つながりを深めています。令和6年度は、9つの市町村(甲府市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、笛吹市、上野原市、富士河口湖町)で開催されます。教室活動を通じて他者と自己を寛容に受け入れ、創造性に溢れた豊かな地域社会づくりを目指します。

日本語教室に関する | 山梨県地域日本語教育総括コーディネーター 古屋玲子
お問い合わせ | y-nihongo@yia.or.jp ☎ 090-7705-7513

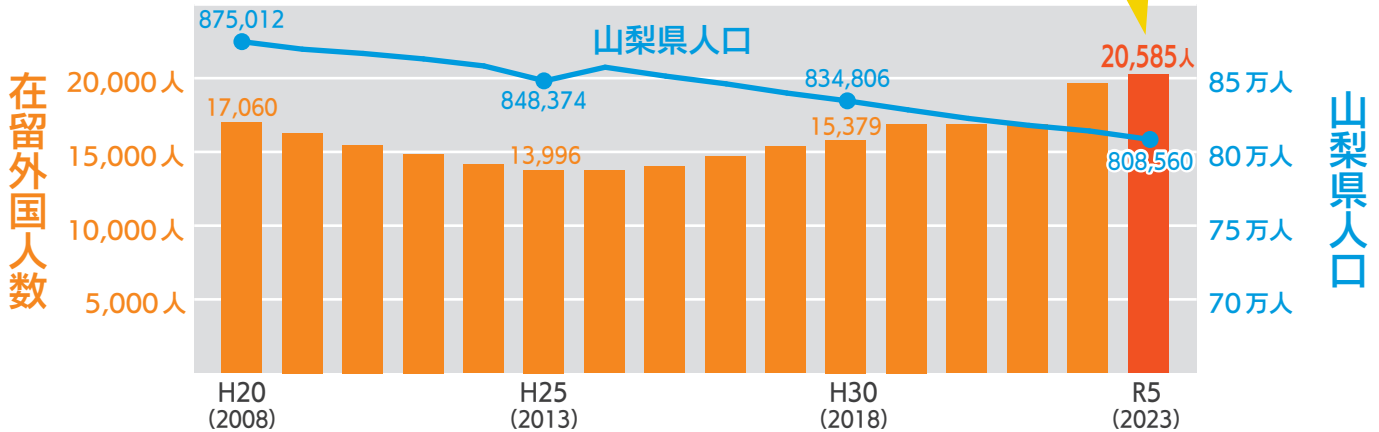


山梨県内における外国人住民

(2023年6月末現在)

山梨県内の在留外国人数の推移

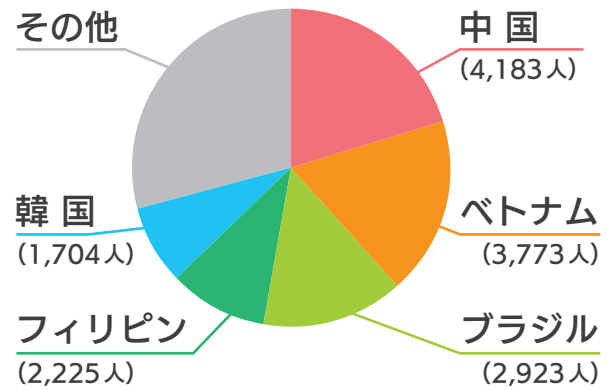
過去最多2万人を超える!



市町村別在留外国人数(上位5位)



国・地域別登録者数



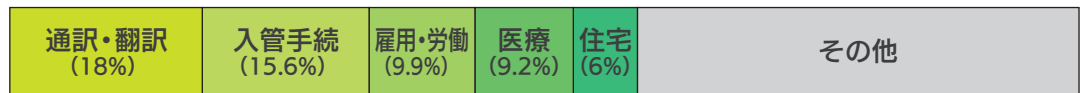
やまなし外国人相談支援センター

相談者数 **1,216人** 相談件数 **1,540件** (1人の人が複数件の相談をすることがあるため)

どんな国・地域の人が相談?



どんな相談が多いの?



やまなし外国人相談支援センター開設1年目の相談人(件)数は、統合前の2倍強に増加しました。センターに寄せられた相談を国籍別に見ると、ブラジルが最も多く全体の55.3%を占め、次いで日本が18%を占めています。相談内容別では、医療機関や学校などにおける通訳・翻訳が最も多く18%を占め、次いで仕事や生活をする上で必要な在留資格など入管手続が15.6%を占めています。また、労災や賃金未払いなど雇用・労働の相談も増えてきています。センターでは、今後もさらに相談機能を充実させ、関係機関とも連携するなど、相談者に寄り添った質の高い相談支援に取り組んでいきます。

やまなし外国人相談支援センター

外国人の皆さんからのさまざまな相談を受けています。日本語がわからなくても大丈夫です。外国人材活用に関する企業からの相談も受けています。相談は無料です。
受付：火曜日から土曜日 9:00～17:00(祝日を除く)
場所：国際交流・多文化共生センター(甲府市朝気1-2-2)
TEL：055-222-3390



外国人のための無料法律相談(予約制)

弁護士が対応します。
日時：毎月第1水曜日 18:30～21:00
毎月第3土曜日 13:00～16:00
言語：英語 ポルトガル語 中国語 韓国語ほか
内容：不当解雇・労災、税金、年金、保険、医療、出入国、結婚など
場所：国際交流・多文化共生センター TEL：055-222-3390
(甲府市朝気1-2-2)



令和6年度 YIA 事業計画

● 多文化共生の社会づくり

- ・やまなし外国人相談支援センターの運営
- ・山梨県地域日本語教育推進事業
(文科省地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業活用)

New 「地域異文化ふれあい広場」

毎回様々なテーマにそった、文化交流を行います。
(月1程度開催予定)

- ・「県民の日記念行事 小瀬会場」出展
- ・「甲府えびす講祭り」多文化交流ブース出展
- ・災害時外国人支援体制強化事業
- ・「外国人地域生活サポーター」設置事業
- ・多文化共生地域づくり推進事業(やさしい日本語など)
- ・国際交流・多文化共生人材バンクの運営
- ・やまなし国際交流・多文化共生団体連絡会の運営
- ・市町村国際交流協会等連絡会の開催





● 国際交流



- ・姉妹友好地域交流促進事業
- ・「やまなし国際フェスタ」開催

● 国際協力

JICA 山梨デスクと連携して国際協力普及啓発事業を実施

- ・国際協力セミナー 
- ・JICA 関連施設訪問 
- ・国際協力理解教育促進事業

● 国際理解

- ・「異文化理解講座」の開催 
- ・教育現場等へ県国際交流員(CIR)や外国人住民などを派遣 



新しい団体の紹介



都留文科大学
比較文化学科 2年生

NPO法人Adovo中部地区委員会山梨支部 矢川華音

こんにちは! NPO 法人 Adovo 中部地区長の矢川華音と申します。
Adovo は全国 120 名の高校生・大学生が集まる NPO 法人です。日本で働く若い外国人(技能実習生など)をサポートする活動を行っております。私たちの最大の特徴は彼らと「同世代」である事です。日本語教室、地域交流イベント、来日前後の講習会などでは、同世代ならではの視点でサポートを行っています。中部地区は昨年度に発足した新しい委員会です。

昨年度は3回、交流会の企画運営を行いました。日本人学生と技能実習生・外国人学生で、オンラインなど様々なコンセプトで交流会を行ってきました。ありがたいことにメンバーも徐々に増えてきており、皆活動熱心な人ばかりです。今後も山梨県内そして中部地区で、国籍や文化などの違いを問わず皆が楽しめる企画を行っていききたいと思います。

私が Adovo に入った理由は、もともと国内外の「文化」全般に興味があった事と人と話すことが好きだったからです。外国の方と接する機会が欲しいと思っていたところ、Adovo を見つけました。所属してからは様々な多文化共生団体の皆さんとの関わりや、イベントでの沢山の方との交流など、貴重な経験をさせていただいています。縁あって、活動を通じて知り合った日本語学校での体験から私個人としても日本語教師を目指すという夢が出来ました。

私たちだからこそ出来る活動をこれからもしていきます。よろしくお願いします!



@NPO_ADOVO_CHUBU



広告募集中!

掲載を希望される方はこちらまで

 (公財) 山梨県国際交流協会

☎ 055-228-5419

✉ webmaster@yia.or.jp

政府直接派遣

30年にわたる経験
6万8,000名以上の
受入実績

<https://imm.or.jp>



Imm Japan

技能実習も! 特定技能も!
お任せください!



公財 国際人材育成機構 長野支局

〒390-0851 長野県松本市島内3505インベリアルプラザ松島2階 TEL 0263-48-3731





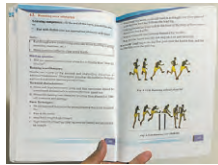
カウンターパートと私



ハードル走



校舎内のカフェ



体育の教科書

私は現在、エチオピアの首都であるアディスアベバ市内の公立小学校3校を巡回し、体育の授業のサポートを行っています。昨年の7月に赴任し、初めに感じた驚きは座学の授業がとても多いことと、日本の学校には必ずあるような器具の多くがないことです。例えば陸上競技を学ぶ単元では、4時間程度リレーのバトンパスやハードル走などの講義を受け、そのあとで実技の授業へ移行します。ただし、バトンをはじめとし、陸上競技で使用する物品のほとんどがありません。バトンは木片を加工し、手作りしたものを使用、ハードル走は縄跳びの縄をハードルに見立てることで授業を実施しています。着任当初は、圧倒的な用具不足から悲観的になることもありましたが、限られた資源で工夫する現地の先生方の姿に励まされ、「ないからできない」ではなく「どうすればやれるか」を考えるようになりました。

学校のなかで私のお気に入りの場所となっているのが、校舎内に設けられたカフェ

です。そこでは、食事をとったりコーヒーや紅茶を飲むことができます。学校のカフェは飲食を楽しむだけではなく、社交場としての一面も強く、体育科以外の先生方とも交流を深めることができます。ざっくばらんな会話を楽しめるこの空間から、息抜きをしながら仕事に向かい合うことの大切さを教えられたような気がします。「日本にあるが、エチオピアにはないもの」に触れるとき、どうしてもネガティブな気持ちになってしまう時があります。一方で、私の知りうる限り、日本の一般的な学校には先生たちが一服でき、談笑できるようなカフェはありません。各国の文化に優劣をつけることができないように、教育にも優劣はないのだと思います。のこり約1年間の任期ではありますが、自分がこれまでやってきた教育に自信を持ちつつも、エチオピアの価値観を尊重しながらトライ＆エラーを繰り返し、子どもたちの笑顔のために日々の活動に取り組みたいです。

JICA山梨デスク 宮本志穂



(公財) 山梨県国際交流協会内 〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 <https://www.jica.go.jp>
Mobile: 080-1264-4327 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



JICA山梨デスクFacebookページ
<https://www.facebook.com/JICAyamanashi/>



JICA横浜ホームページ
<https://www.jica.go.jp/yokohama/office/suishinin.html>

けんないゆいいつ しょくぎょうしょうかいゆうりょうじぎょうしゃ
県内唯一の職業紹介優良事業者です。
お仕事相談無料です。県内在住の外国の方、お気軽にご連絡ください！

LINE公式アカウントでも受付中
398strhc

株式会社 アルビス
☎0120-053-052
〒409-3822 中央市下三條550 やまなし転職・就職ナビ

19-コ-300065 派19-300008

やまなしけんないがい
山梨県内外で“おしごと”を紹介します
とうろくは いつでも簡単にできます
English, Portuguesも対応できます

Trend Co.,Ltd.
株式会社トレンド

中巨摩郡昭和町河東中島1151-7
☎0120-972-061
<http://www.trendco.biz>
【派23-301642 23-コ-301187】

VISAのことなら何でも相談ください
ビザ更新・外国人雇用・国際結婚・永住・帰化
技能実習生受入・有料人材紹介

お問合わせはコチラ

特定技能登録支援機関

中巨摩郡昭和町清水新居1666
TEL 055-233-0211

ビジネスサポート行政書士事務所

あなたに合ったお仕事紹介します！
日本語が少し分かれば働けます。

株式会社ネクストエイジ ☎055-275-3216

【お仕事たくさんあります!】
英語・ポルトガル語・スペイン語
ベトナム語・タガログ語

つうやく通訳います

〈働く〉を新しく。〈未来〉をアシスト。
アシスト エンジニアリング
<https://www.assisteng.co.jp>

(株)アシストエンジニアリング
〒409-3841 山梨県中央市布施 2106-1
☎0120-713-809

VISA・在留資格
オンラインでも相談できます!

KAGAMI
加々美行政書士事務所

palan AR

Information

6/16 地域異文化ふれあい広場② (日) 「リズムエクササイズ」

ラテン音楽に合わせて楽しく体を引き締めませんか？
ブラジル出身でプロボディビルダーのイナツ ミドリさんによる特別プログラム！

- 日時 6月16日(日) 13:30~15:00
- 定員 30人
- 参加費 無料
- 場所 びゅあ総合 3F レクリエーション室 (甲府市朝気1-2-2)
- 持ち物 室内シューズ、タオル、飲み物



申し込み



6/22 異文化理解講座 (土) 「アフガニスタンの食文化」①

山梨県立大学・准教授 ジェイソン・プラットさん(元駐日アフガニスタン大使館広報官)がアフガニスタンの食文化についてお話しします。

- 日時 6月22日(土) 10:00~11:00
- 場所 県立国際交流・多文化共生センター 研修室(甲府市朝気1-2-2)
- 対象 一般・6/22、6/29 両日参加できる方
- 受講料 無料
- 定員 12人
- 講師 ジェイソン・プラット



申し込み



7/7 「JICA横浜 海外移住資料館」バスツアー (日)

昭和20年代後半~30年代半ばに多くの日本人が南米に移住し、山梨にもその子孫である日系人の皆さんが暮らしています。さまざまな困難を乗り越え、移住先の国づくりに貢献した人たちの歴史を一緒に学びましょう。

- 日時 7月7日(日) 8:30~18:00(予定)
- 行き先 JICA横浜 海外移住資料館(横浜市中区新港2-3-1 2F)
- 対象 小学校5年生以上(小学生の場合は保護者の同伴が必要)
- 発着 びゅあ総合(甲府市朝気1-2-2)
- 参加費 無料(昼食は各自)
- 定員 20人
- 共催 JICA横浜



申し込み



6/29 異文化理解講座 (土) 「アフガニスタンの食文化」②

アフガニスタンを代表する料理「ボラニバンジャン」をジェイソン先生と一緒に作ってみんなで試食します。

- 日時 6月29日(土) 10:00~11:30
- 場所 びゅあ総合 調理実習室(甲府市朝気1-2-2)
- 対象 一般・6/22、6/29 両日参加できる方
- 受講料 無料
- 定員 12人
- 講師 ジェイソン・プラット



7/21 「故郷を失った難民の日々 (日) ~シリア難民から考える世界」

「アラブの春」をきっかけに、2011年から続くシリア内戦。戦火を逃れ、隣国トルコやヨーロッパ諸国で難民として生きる人々の暮らしを長期にわたって取材する、ドキュメンタリーフォトグラファーの小松由佳さんにお話しいただきます。

- 日時 7月21日(日) 13:30~15:30
- 場所 びゅあ総合 2F 中研修室(甲府市朝気1-2-2)
- 対象 一般
- 参加費 無料
- 定員 30人
- 共催 JICA横浜

申し込み



「YUKA KOMATSUシリア難民写真展」

場所 びゅあ総合 1Fロビー
期間 7/21~7/24 9:00~17:00
ただし、7/21は13:00~、7/24は12:00まで

7/27 地域異文化ふれあい広場③ in English (土) 「The Jewel of Southeast Asia Rich History & Diversity of Culture」

山梨大学の研修留学生であるイルファンさんが多民族国家マレーシアの歴史や豊かな文化について音楽や食べ物などを通じて紹介します。

- 日時 7月27日(土) 10:00~11:30
- 定員 25人
- 参加費 無料
- 場所 びゅあ総合 3F 音楽室 (甲府市朝気1-2-2)
- 対象 一般(ただし、すべて英語で行います)



申し込み



8/18 地域異文化ふれあい広場④ (日) 「バレエストレッチ」

バレエストレッチを行い、美しい姿勢を目指します。
しなやかな身体づくりを行いながら、一緒に交流してみませんか。講師は甲州市出身、元ロシア国立クレムリンバレエ団プリンシパルの小池沙織さんです。

- 日時 8月18日(日) 13:30~15:00
- 定員 30人
- 参加費 無料(7/10~申込受付開始)
- 場所 びゅあ総合 3F レクリエーション室(甲府市朝気1-2-2)
- 持ち物 タオル、飲み物、ヨガマット(バスタオルでも可)



申し込み



国際理解教育促進支援事業

山梨県国際交流協会では、県民の皆様の主体的な国際交流の取り組みを支援するため、海外から招致している国際交流員(カナダ、ベトナム、イギリス、ブラジル)の派遣を行っています。異文化への理解を深める授業やイベントなどでぜひご活用ください！

例えば… 外国の簡単な日常会話、遊び、文化の違いについて、
楽しい時間を過ごしながら学びましょう！

対象 小中高校、大学、国際関係団体など

問い合わせ
(公財)山梨県国際交流協会
☎055-228-5419 ✉webmaster@yia.or.jp



YIAの最新情報はこちらから



編集後記

大人になると時間が経つのが早く感じます。それは子どもの頃に比べると、新しい経験が減るからなのでしょうね。最近みなさんは何か新しいことを始めましたか？
私は今年アクリルタワシ作りとペランダ菜園を始めました。
今年もYIAでは新たなイベントがたくさんありますので、ぜひご参加ください！
2023年8月からYIAで勤務を始め、もうすぐ1年になります。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

松葉佐

山梨県国際交流協会(YIA) 会員募集中！

YIAの活動を支援していただくために、会員を募集しています。

- 年会費 個人 2,000円 団体 5,000円(会員期間:入会日から1年間)
- 会員特典 YIA主催の講座やセミナーほかイベントの案内をお送りします。
機関紙「YIA Newsletter」(年2回)をお送りします。

YIA Newsletter 2024年夏号

編集/発行 公益財団法人 山梨県国際交流協会
〒400-0862 山梨県甲府市朝気1-2-2
TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473 受付時間 8:30~17:15
休館日 毎週月曜日(祝祭日を除く) および祝祭日の翌日、年末年始(12/29~1/3)
Email: webmaster@yia.or.jp